

あいさつ運動の好事例

笠岡市立城見小学校

(児童数 164 名 教職員数 13 名)

あいさつ殿堂入りを目指せ！

～ 児童会が主体となり、よりよく人と関われる力の育成～

アピールポイント

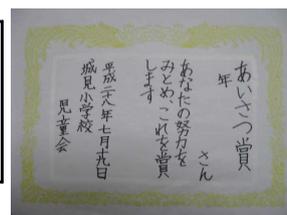
- 本校では学期に2～3回児童会が主体となりあいさつ運動に取り組んでいる。特に大きな声であいさつができた児童は、その日の給食放送で紹介され、やる気と自信が高められている。
- あいさつが特にすばらしい児童は、朝会で「殿堂入り」として表彰状が手渡される。「殿堂入り」した児童は、運動が終わっても継続してよいあいさつができており、元気なあいさつが着実に広がっている。

実際の様子



後期児童会が「ジャンケン挨拶」でみんなとコミュニケーションを図っています。

殿堂入りした人は、このような手作りの賞状が全校朝会で手渡されます。



取組の概要

■ 児童生徒の実態

本校の学校教育目標は「心身ともに健康で、生き生きと活動できる子どもの育成」である。あいさつはコミュニケーションの基本であり、人とよりよく関わるためには必要不可欠なものである。しかし、年度当初は全体的にあいさつの声が出にくく、地域からもあいさつを頑張る欲しいとの声が上がっていた。

■ 活動内容

児童会による校門の前でのあいさつ運動、給食放送での紹介、朝会での表彰式

■ 取組の参加メンバー

全校児童、教職員が参加。地域見守り隊（青パト）の方も協力してくださっている児童会が中心となって実施

■ 成果・効果

「あいさつが大きくなっている。」と地域の声をいただいている。

あいさつ殿堂入りした児童は、自分に自信をもち、毎日継続してよいあいさつができています。今後は 地域の中でも進んであいさつができる児童を育てていきたい。